

祝 辞

春の兆しと名残り雪が織りなす津南らしい季節の今日この頃、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆さま、生徒の多感な青春をここまで支えてこられましたこと、深く敬意を表しますとともに、本日のご卒業を心からお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。世界はまさに「ひゃくねんかせい百年河清を俟つ」、混沌の真まつっ只中にあります。

まだしばらくは、勉学の道で猶予の時があるかもしれませんが、何をどう学んで、どう社会に生かすかが、これからの皆さんの大きなチャレンジです。

二本ある手のどちらかは、誰かのために使えるように、大きな志を持って、納得するまで進んでください。心が動けば、アクションを起こすことができます。

新年度のスタートまで、少し時間がありますね。心をリセットできるいい機会です。心に余白があると、新たに踏み出す一歩が軽くなります。

そこでその余白に「これからの心持ち」を贈ります。

一つ これから起こる様々なことをあまり深刻に受け止めないよう。

二つ ひと他者を憎むような状態にまで自分を追い詰めないよう。

三つ 健康こそが、すなわち若さです。

さあ、明るく元気に一歩を踏み出してください。心配せずに、慌てないで、勇敢に進んでください。きっと志を同じくする、ここ津南中等で学んだ先輩や仲間が、相談相手としていることでしょうから。

保護者の皆さま、これからがサポーターとしての本当の力の見せ所ではと拝察いたします。

我が子を信じ、励まし、無償の愛をこれからも投じて頂きたいようお願い申し上げます。

結びに、校長先生をはじめ教職員の皆さま、これまで生徒一人ひとりの夢の実現のために、その時々最善のお導きをいただきましたこと、深く、深く敬意と

感謝を申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

きっといつか、地域のリーダーとして還ってくる日を夢見て。

令和6年3月15日

津南町長 桑原 悠